



平成24年 新春号  
**静岡県議会報告**

自民改革会議 会派代表質問特集



静岡県議会議員  
産業委員会委員長

おち あい しん ご

**落合慎悟**

**2012年 ニッポン復活!!**

昨年は東日本大震災・原発事故、台風12号15号による被害など大きな災害に見舞われました。しかし、日本は何千年も昔から自然災害に打ちのめされ、その度に復興し、以前より素晴らしい社会を築くことを続けてきました。私たちは、再びこの困難を乗り越え、日本を再興しなければなりません。

**経済成長を復活させよう。**

今、日本政府は財政健全化策として消費税など増税を検討しています。(消費税5%で11兆円です。)現在の国税収入は41兆円、20年前は60兆円です。原因は物価や給与など下落し、企業と個人の所得税が減ったからです。企業や個人の所得を多くして税金を払ってもらわなければなりません。日本全体が疲弊しているときに増税は負担が大きすぎて経済は更に悪化します。今、必要な政策は消費を拡大させ、経済を活性化させることです。そして、企業・個人は省エネ・耐震・新規事業などの積極的な設備投資をする。経済が拡大すれば景気は好転し、物価・給与が上昇になります。当然所得税収も多くなり消費税を上げなくても大丈夫です。物価上昇で円の価値が下がれば当然、国際的にも円安傾向になります。経済は成長させて国は運営ができます。

行政も経営!経営者は市民の目線で判断してはいけません。多様な市民の状況を確かめ理解し、社会全体を見渡して無駄を減らし、不公平のない判断をすべきです。

橋下大阪市長を独裁者と言っている人がいますが、私の見方は違います。日本の未来を見据え「希望に満ちた明るい社会」に変えてくれる『実行力のある本物のリーダー』と思います。私は大いに期待しています。

2012年はニッポン復活の元年です。藤枝市民・県民のため、『誰もが希望を持って、安心して暮らせる社会をめざし』懸命に頑張っています。今年もご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



相馬市・南相馬市の  
大震災記録書



飯館村役場は  
警察が見張る

**10月26～28日 福島県被災地調査**

車に放射能測定器を設置し、福島市、相馬市、村ごと避難している飯館村などの現況を視察しました。飯館村に入ると測定器の数値が急に3～5μSvに上がり、落ち葉がたまる場所では数十μSvになり、村全体が放射能汚染されていることがわかります。南相馬市の桜井市長の説明では、3月11日地震・津波が起き、12日朝5時過ぎに原発事故で10km続けて20kmの避難指示があり、津波被害のさなか連絡も困難な中で住民の避難先やバスが手配できず困っていた矢先に新潟県がバスを手配してくれて5千人の住民が避難できたこと、国の放射能除染作業方針が決まらないため、市が独自のマニュアルを作り住民たちに除染作業をお願いしていることなど苦労されてこられたお話、また市長の家が20km圏内にあるため戻れず家族はバラバラに住んでいることや市内の病院医師や看護師が避難したきり戻ってこないため入院や診療が大幅に制限されていることなど被災現場でないと知らないことを教えていただきました。相馬市の佐藤副市長からは、津波被災状況や除染などの住民対策を何うとともに事故以来、克明に記録された大震災記録報告書をいただきました。この記録書は災害対策作成に貴重な資料となります。4回目の被災地訪問は大きな成果がありました。

**12月議会 代表質問**

**落合慎悟県議**

**来年度予算編成の重点政策は**

厳しい社会情勢を踏まえ諸課題を鑑み、安心安全な地域づくりや厳しい雇用情勢の対応を重点的に進める。津波に強い街づくりのため漁港の堤防や河川の護岸整備、水門の耐震化など海岸地域の基盤整備を進める。新卒者への就職支援や雇用のミスマッチ解消、3万人の雇用創造に向けて産業界と連携し推進する。

**県総合計画の進め方について**

総合計画に盛り込んだ施策の効果を計り、創造的な見直しを行い、より効果的な県政運営を図る。危機管理の強化、全県を挙げた雇用対策、新東名高速を生かした魅力ある地域づくりを進める。1月を目途に白書として評価結果を公表する。

**TPPに対する知事の所見は**

TPP協定は21分野で交渉中で情報不足であり、安い農産物の輸入が増加する懸念がある。ブランド化など農産物の高付加価値化の推進と農地の流動化で規模拡大や技術革新で生産性拡大に取り組む。中小企業への影響はアジア地域の市場を取込むことで産業が発展する。国際化に対応できる県内産業の構築に取り組む。

**福祉医療費助成の拡充を**

子育て家庭や障害者(児)の経済的負担を軽減する重要な支援策である。福祉医療費助成は通院の補助対象を中学3年生まで引き上げ、重度障害者(児)医療費助成は新たに精神障害者を対象に加えることで市町の理解を得て24年度予算に所要額を計上する。

**地域医療の再生について**

救急医療分野では救命救急センターの建替えや志太榛原圏域での新たな小児救急拠点の整備、周産期医療分野では新生児集中治療管理室の増床等を進める。在宅医療分野では在宅医療支援センターを中心に医療介護に携わる関係機関の連携システムの構築を図る。

**中小企業に支援策を**

急激な円高対策として緊急資金需要に応じた県制度融資の拡充を行うとともに、2月に県内下請け企業約100社の受注機会を拡大を図る商談会を東京で開催する。今後、きめ細やかな支援を実施する。

**農業施策(茶・みかん・干し椎茸)**

茶業振興は新品種・製造技術で味や香りに特徴ある銘茶づくりの推進やお茶の魅力情報を発信する。蜜柑生産振興は生産加工販売まで手掛ける6次産業化の推進。産地特徴を生かした商品開発の支援。干しシイタケの信頼回復に向けた取り組みは安全性のPRとともに放射性物質移行メカニズムの研究。

**教職員の不祥事根絶(今年度10人懲戒処分)**

不祥事根絶委員会設置、校内コンプライアンス委員会設置、セクハラ相談制度の拡充と周知、教職員セクハラ防止講座の開催など新たな6つの再発防止策を行うこととし、専門家と発生原因分析を進めている。各学校で校長が自らの言葉で教職員一人ひとりの心に届く語りかけを続けていくよう指示した。

**県警察の運営に対する所信**

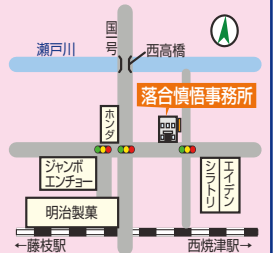
県民の安全と安心を実現するため、期待と信頼に応える警察の構築を行う。津波避難対策・原発テロ対策など危機管理体制の強化や暴力団取締強化、弱者を狙った犯罪防止などとともに警察官としての姿勢を堅持させる。

**その他の質問項目**

事業仕分け結果。浙江省友好提携30周年。韓国との交流。富士山静岡空港の利活用。災害に強い県土づくり。原発防災対策重点地域の拡大。県立短大看護学科の4年制。高校生の交通事故対策。繁華街対策の警察方針。

**落合慎悟事務所**

〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
<http://www.ochiai-shingo.jp>



**12月6日の県議会傍聴会と新東名高速走行**  
総勢137名で県議会代表質問の傍聴と完成間近な新東名高速道路を金谷IC～浜北ICまで見学走行しました。17項目に及ぶ代表質問と知事・部長・教育長・警察本部長の答弁を聞いていただきありがとうございました。24年度も企画いたします。行事予定を2か月前には、ホームページに記載します。是非ご参加ください。